

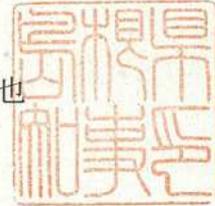
公 告

このたび、下記の事業の計画を変更したいので、土地改良法第88条第1項の規定により、下記の書類とともにこの旨を公告する。

なお、この受益地内にある農用地の所有者で、その農用地について耕作もしくは養畜の業務を営まない者、又はこの地域内にある農用地以外の土地を所有権以外の権原に基づいて使用及び収益している者で、その農用地又は土地について、この県営事業に参加しようとする者は、同法第3条の規定により令和8年3月27日までに津和野町農業委員会に申し出られたい。

令和8年3月12日

島根県知事 丸 山 達 也



記

1 地区名及び事業名

滝の下地区用排水施設事業（県営農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業））

2 公告する書類の名称

変更後の土地改良事業計画の概要

土地改良事業計画概要書

滝の下地区 用排水施設事業
(県営農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業))

第1章 変更の内容及び変更を必要とする理由

(1) 変更の内容

事業費の10%以上の変動 (規則第38条の2 告示第三号)

工 種 等		変更前	変更後	増減 (△)
用排水施設事業 (ため池整備事業)	事業量	1カ所	1カ所	—
	事業費	409,000,000円	575,500,000円	166,500,000円 変動率24.4%

(2) 変更の理由

①ため池内及び基礎地盤の地盤改良の変更による増。

地盤改良の施工に先立ち、現地を確認したところ想定よりも地盤が軟弱であり、堤体及び工事用道路の安全性の確保が困難であることが判明した。このことからため池内泥土の安定処理及びトレンチ部安定処理の添加材増量を行う必要が生じたことによる事業費の増額。

②残土処理場の変更による増。

当初民有地に残土の搬出を計画していたが、土質確認の結果土地所有者より受入不可の回答があったため、残土処理場の変更の必要が生じ、近隣の工事現場に搬出することとした。しかし、受入れの条件として含水比を下げる必要があり、これに係る土質改良・積込・運搬を別途計上する必要が生じたことによる事業費の増額。

③土取場追加に伴う地質調査設計・伐採の追加実施による増。

堤体盛土の土取場において、想定よりも浅い位置に岩盤が確認され、必要土量の確保が困難となった。このため、新たな土取場を確保する必要が生じたことから、地質調査および測量を実施すること、あわせて伐採作業が必要になることによる事業費の増額。

第2章 目的

本地区ため池は谷池、均一型の堤体形式であり、ため池から供給される用水によって受益面積 6.5ha で営農がなされている。この度、ため池の事前調査を行ったところ、現堤体は地震に対して不安定な状態であること、また洪水吐は計画洪水量に対し断面が不足していることが判明した。

本ため池堤体下流域には、公共施設や、民家、農地などがあり、災害等が発生した場合、被害は甚大なものとなると予想されている。したがって、下流域住民の人名や財産を守るため、同事業により早急な改修整備を実施し、施設の機能維持、安全性の確保を行うことを目的とする。

第3章 地域の所在及び現況

【地域の所在】

鹿足郡津和野町池村地内

【現況】

・受益地の用途別面積表

単位：ha

	水田	畑	樹園地	原野	山林	道水路		合計
現況	6.5							6.5
計画	6.5							6.5

・地形

津和野町は島根県の最西端に位置し比較的温暖な気候に恵まれた盆地である。

地目	田						畑その他						受益地標高		備考
	1/1000 以下	1/1000～ 1/100	1/100～ 1/20日	1/20～ 1/115	1/115 以上	計	3° ～	3° 8°	8° 15°	15° 20°	20° 以上	計	最高	最低	
面積			6.5			6.5									
百分率			100			100									

・土質及び土壌

粘質及び砂質土壌

・気象

年間平均気温はかんがい期 21.0℃ 非かんがい期 10.0℃である。

降雨量はかんがい期の年間降雨量は 1038.7mm程度、非かんがい期で 625.2mm程度である。

・水利状況

本地域の水源は、本ため池及び上流に位置する滝の上池で賄っている。

・営農状況

本地区は農業地帯で、水稻を基幹作物として、生産に意欲的に取り組んでいる地域である。

・地域環境の概況

当地区は津和野町の北西部に位置しており、周囲は農地、宅地、公共施設が隣接している。

第4章 基本計画

(1) 事業量

工種	数量(変更前)	数量(変更後)
堤体工	43.2m	45.2m
洪水吐工	63.3m	61.5m
底樋工	42.5m	39.0m

(2) 環境との調和への配慮

工事区域内において、希少動植物を発見した場合には、必要に応じて捕獲し、近傍の生息条件に類似した区域へ移動させるなど生態系への影響を最小限に抑えるように留意する。

第5章 工事着手及び完了の予定時期

変更前)	[着工] 令和4年度	[完了] 令和7年度
変更後)	[着工] 令和4年度	[完了] 令和9年度

第6章 管理の要領

津和野町及び地元水利組合が管理する。

第7章 費用の概算

区 分	事業費 (円)	
	変更前	変更後
本工事費	409,000,000	575,500,000
地方事務費	20,450,000	28,775,000
合 計	429,450,000	604,275,000

第8章 事業の効果

【変更前】

項 目		効果額等
効果（便益）額	災害防止効果	30,490 千円
	維持管理費節減効果	△75 千円
		— 千円
		— 千円
	合 計	30,415 千円
総費用		502,661 千円
総費用総便益比		1.24

【変更後】

項 目		効果額等
効果（便益）額	災害防止効果	35,875 千円
	維持管理費節減効果	△33 千円
		— 千円
		— 千円
	合 計	35,842 千円
総費用		703,302 千円
総費用総便益比		1.24

第9章 他事業との関係

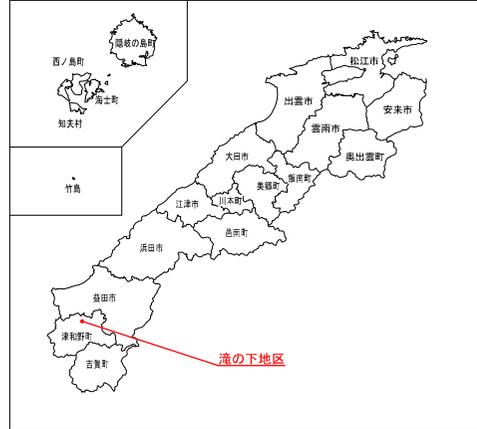
なし

第 10 章 計画概要図

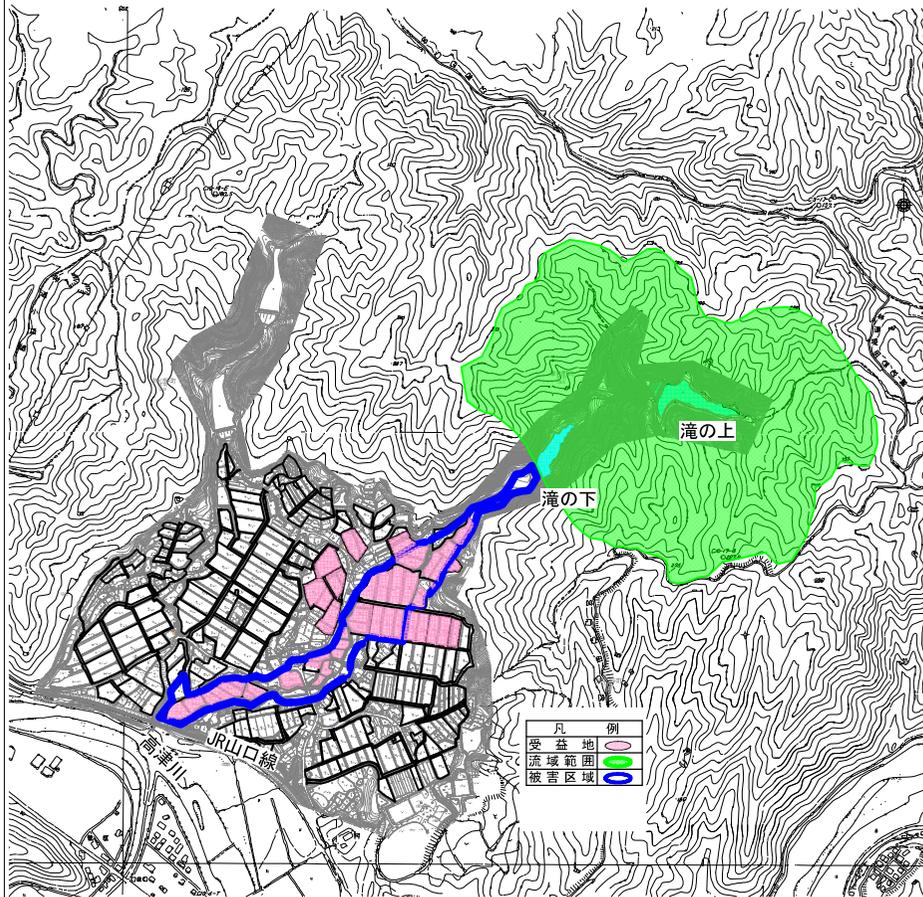
別添のとおり

計画概要図

県内位置図

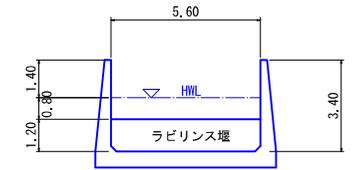


位置図

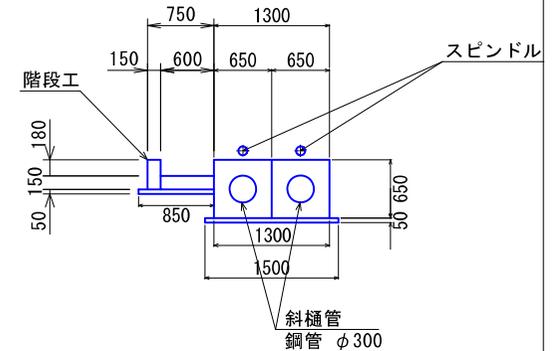


変更前

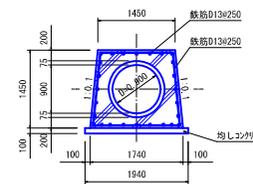
洪水吐工断面図



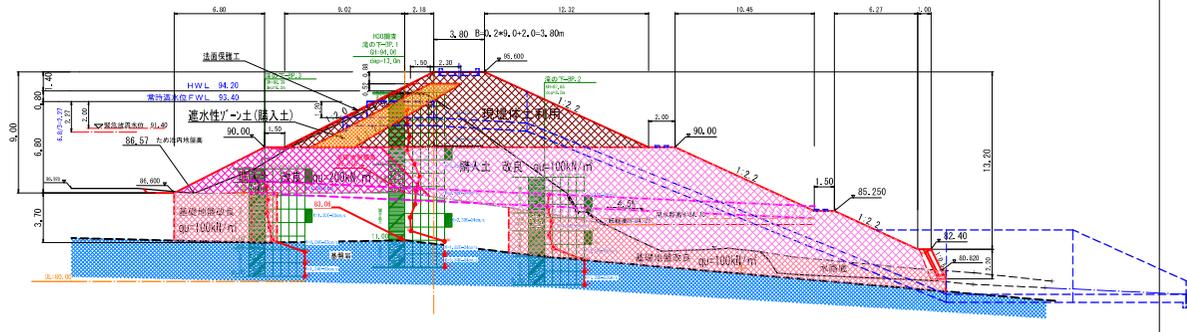
斜樋工断面図



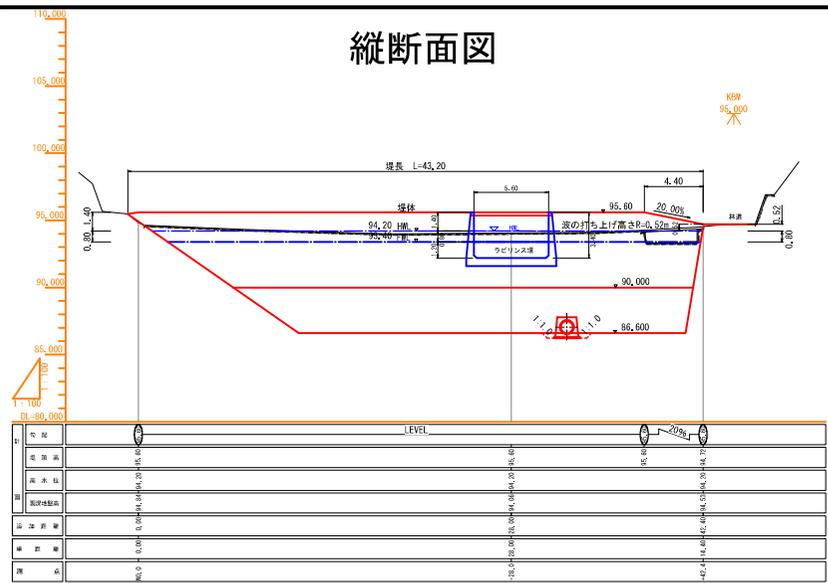
底樋工断面図



堤体標準断面図

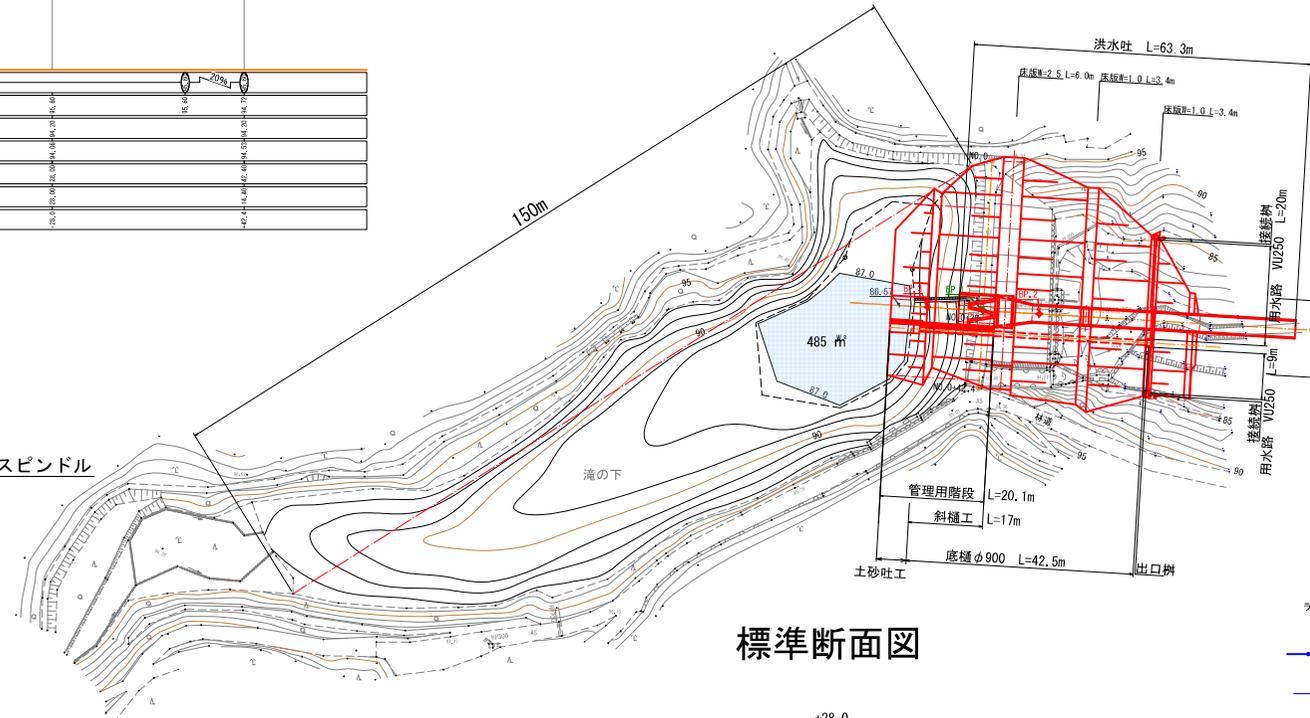


縦断面図

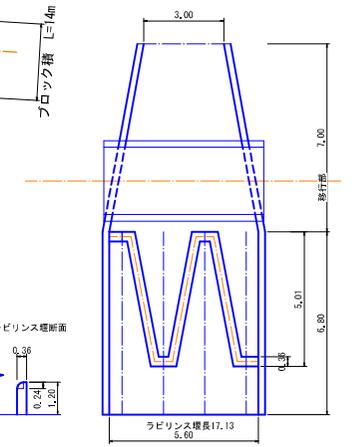
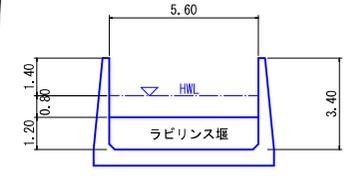


平面図 滝の下

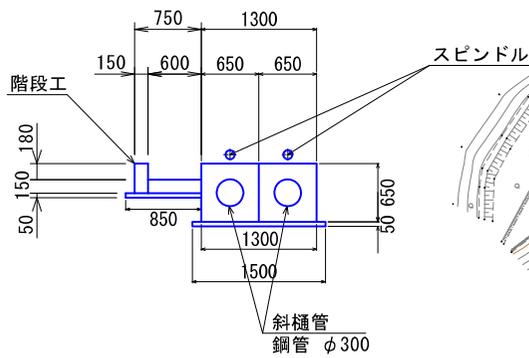
変更前



洪水吐 S=1:100
A3サイズ出力時 S=1:200



斜樋工



標準断面図

+28.0
0H=94.06
FH=95.60
D=28.00

底樋工

360°巻き立て管 (φ900ヒューム管B形1種)

